

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2018 (平成 30) 年 第 5 週 (1 月 29 日～2 月 4 日)

今週のコメント

～インフルエンザ～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 依然警報レベル超え続く」

第 5 週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は前週比 8.7%減の 1,619 例であった。小児科定点疾患、眼科定点疾患の定点あたり報告数の第 1 位は感染性胃腸炎で以下、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RS ウイルス感染症、流行性角結膜炎、水痘の順で、上位 5 疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 4.8、1.9、0.6、0.4、0.2 である。

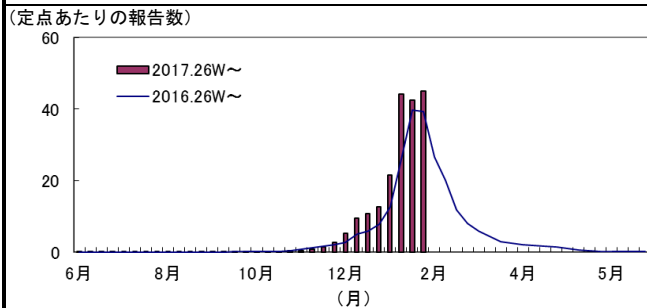
感染性胃腸炎は前週比 11%減の 948 例で、南河内 9.2、中河内 6.6、大阪市北部 6.1、泉州 5.9 の順である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 2%減の 367 例で、大阪市南部 3.2、泉州 3.0、南河内 2.8、豊能 2.1 であった。

RS ウイルス感染症は 2%減の 123 例で、大阪市北部 1.6、南河内 1.4、大阪市西部 1.0 である。流行性角結膜炎は前週と同様の 19 例で、中河内 1.0、豊能・堺市 0.8 である。水痘は 50%増の 48 例であった。

インフルエンザは 6%増の 13,686 例で、定点あたり報告数は 45.0 である。南河内 68.5、大阪市西部 57.1、北河内 48.0 と続き、依然として全 11 ブロックで警報レベル開始基準値の 30.0 を超えている。1 月の大阪府内のウイルス検出状況は、B 型 54.9 %、AH3 33.3%、AH1pdm09 11.8%であった。

インフルエンザ



感染性胃腸炎

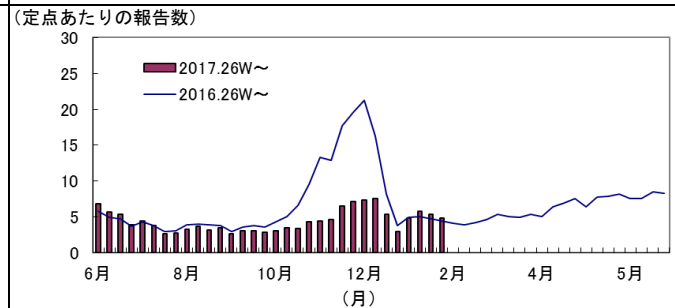


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2018 (平成 30)年 第 5 週 1 月 29 日-2 月 4 日)

第 5 週 の順位	第 4 週 の順位	感染症	2018 年 第 5 週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2017 年 第 5 週の 定点あたり 報告数	2018 年 第 5 週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.8	11%減	4.4	20 歳以上_14%
2	2	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.9	2%減	1.3	4 歳_13%
3	3	RS ウイルス感染症	0.6	2%減	0.6	1 歳未満_52%
4	4	流行性角結膜炎	0.4	増減なし	0.4	20 歳以上_58%
5	7	水痘	0.2	50%増	0.3	7 歳-8 歳_38%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ 定点報告疾患)	45.0	6%増	39.5	20 歳以上_20%

第5週のコメント

～カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症～ 2014年9月、5類全数把握感染症となり、全国で年間1,500例を超える報告があります

全数把握感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症は、カルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム系抗菌薬に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称である。広域β-ラクタム系抗菌薬以外に、他の抗菌薬にも耐性であることが多く、カルバペネム耐性遺伝子がプラスミドの伝達により複数の菌種に拡散していくことから、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。米国では、この10年間にCREの菌種全般の検出数は4倍に増加しており、国際的にも発生動向が注視されている。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[感染症の話\(国立感染症研究所\)](#)

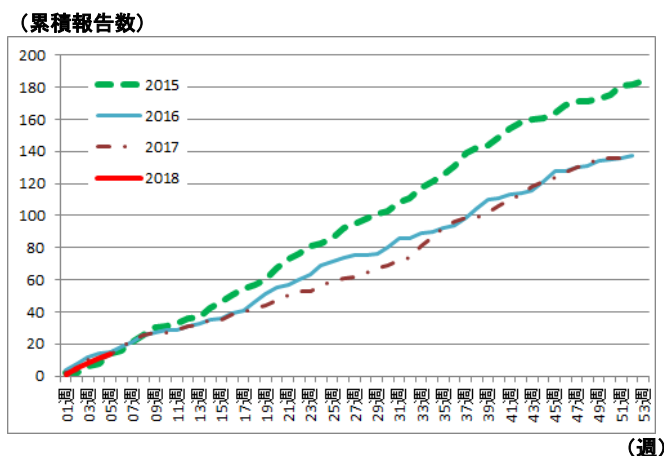


表2. 大阪府全数報告数（2018(平成30)年 第5週 1月29日～2月4日）

*) 注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

3類感染症	報告はありません
4類感染症	報告はありません
5類感染症 (麻しん、風しんは除く)	<p>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3名 (堺市 1名、泉州ブロック 1名、大阪市 1名、府内累積報告数 14名)</p> <p>侵襲性インフルエンザ菌感染症 1名 (北河内ブロック 1名、府内累積報告数 10名)</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症 2名 (豊能ブロック 1名、大阪市 1名、府内累積報告数 36名)</p> <p>梅毒 5名 (三島ブロック 1名、大阪市 4名、府内累積報告数 75名)</p>
結核 (2017年12月分)	<p>結核 新登録患者数：172名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 71名)</p> <p>(府内累積報告数 1,910名、内 肺・喀痰塗抹陽性 790名)</p>
麻しん、風しん	報告はありません

(2018年2月6日 集計分)